



日本共産党 金子 卓 議員

尖閣諸島  
竹島  
全千島

# 私たちはこう考えます



■領土問題の解決には、歴史的事実と道理にたった外交交渉が必要です。緊張を激化させるような行動は双方が慎まないと問題の解決にはなりません。■日本共産党は侵略戦争と植民地支配に反対をつらぬき、旧ソ連、中国などと、どんな大国の横暴も許さぬ自主独立の党です。だから、歴史的事実と道理にたった解決策を堂々と提案し、冷静にとりくみます。



NO. 124  
2012年 9月  
日本共産党大宮支部  
電話 (52) 2422  
FAX (52) 2471  
Eメール アドレス  
kaneko-s@jcp-net.jp

## 竹島

竹島であしか漁をし  
ていた中井養三郎氏の  
求めを受け、日本政府は同島を  
日本領として島根県に編入（1  
905年）これは国際法上有効  
なものです。

しかし、この時代は日本が韓国  
を武力をもって植民地化していく  
過程で、韓国の外交権は奪われ、  
韓国は異議をとなえることができ  
ませんでした。

## 植民地支配への反省にたつて話し合うテーブルを

解決のためには、日韓双方が  
歴史的事実にもとづいて、外交交  
渉で解決する事です。

いまの問題は、日韓側に解決  
を話し合うテーブルがないこと  
です。日本政府が韓国併合（19  
10年）への根本的な反省にたつ  
てこそ、冷静に話し合うテー  
ブルがつくられます。

## 尖閣諸島

### 日本の領有と実行支配は正当

尖閣諸島を探検した古賀辰四  
郎氏が同島の貸与願い申請（1  
895年）。日本政府は尖閣諸  
島を日本領に編入しました（1  
895年）。これが最初の領有行  
為（先古）で、国際法上で正当と  
認められています。

中国は1970年代になるま  
で異議をとなえたことはありません。  
「日清戦争で奪った」という

## 全千島 1875年、領土と確定

択捉島、国後島の南千島はも  
しろん、千島列島全体が日本領  
です。日ロ間で結んだ樺太・千島  
交換条約（1875年）で確定  
されています。

## 旧ソ連が不法に占拠、認めた日本政府

旧ソ連は「領土不拡大」という  
主張も歴史的に成り立ちません。  
領有の正当性を説く外交努力を  
冷静に理をつくして日本の領  
有の正当性を説く外交努力を進  
めることが必要です。

歴代の日本政府は「領有権の  
問題は日中間に存在しない」とい  
う理由で、30回以上、中国と  
会談・懇談してきたにもかかわらず、  
突つ込んだやりとりを交わし  
た形跡はなく、国際社会に主張  
した例も見当たりません。

## あつはならぬ暴力 中国は安全確保に万全を

尖閣問題をめぐる中国各地の  
デモや抗議行動の中には、日本  
人に対する暴力行為、威嚇、嫌  
がらせ、また日本関連の企業や  
建物への破壊活動があり、それ  
による負傷や被害も報告されて  
います。

いかなる理由であれ、批判や抗  
議の意思を暴力で表すことは、ど  
んな場合でも絶対にあつてはなり  
ません。その点で、両国政府には、  
国民が冷静な行動をとるよう最  
大限の努力をする責任がありま  
す。中国が、日本人、企業、  
大使館の安全確保に万全の対策  
を取るべきなのは、当然のこと  
です。

第2次世界大戦の戦後処理の大  
原則を破つて、千島を占領しまし  
た。

日本政府はこれに抗議もせず、  
千島列島を放棄（1951年、  
サンフランシスコ講和条約2条  
C項）。全千島返還の交渉もし  
ていません。

## 千島放棄を再検討し、全千島返還交渉を

日本共産党は、戦後処理の不  
公正をただして、千島列島を放  
棄した条項を破棄し全千島返還  
の交渉をするよう提案しています。

函舞、色丹は千島ではなく北  
海道の一部であり、即時返還さ  
れるべきです。

## 金子 卓 議員の一般質問項目

### 1. 福島原発事故被害対策について

- (1) 子どもの健康調査の実施
- (2) 当市が被った損害の賠償請求



### 2. 雨水排水対策について

- (1) 大宮地域、北町地区雨水排水対策
- (2) 大宮地域、上町地区雨水排水対策

### 3. 道の駅整備事業について

- (1) 道の駅整備検討委員会と今後のスケジュール
- (2) 常陸太田市が計画している複合型交流拠点施設
- (3) 道の駅基本構想業務委託
- (4) パブリックコメントの実施

### 4. 困窮世帯への対応について

- (1) 水道・電気・ガスが止められてしまった困窮世帯の把握と対応

### 5. 防災行政無線について

- (1) 防災行政無線平常放送のうち一般放送の積極的活用

☆金子すぐる議員のホームページ  
<http://www.jcp-net.jp/kaneko-s/> ご覧ください



## 日本共産党 しゅうじ 氏の周治氏 演説会で原発ゼロの日本を力説

6月1日に記  
者会見したうの  
周治茨城4区国  
政対策委員長  
（4区予定候補）  
は、8月19日、  
ひたちなか市で  
開かれた「衆院  
4区の日共産  
党演説会」で、  
大飯原発を再稼  
働させた野田政  
権について、福  
島第1原発事故  
の被災者の心を  
踏みにじている

とのべ、「原発ゼロの日本を」と主  
張。日本の環太平洋連携協定  
（TPP）参加阻止に全力をつく  
す決意を表明しました。  
演説会に参加していた男性（3  
1歳）は、「今の民主党政権はま  
るで自民党野田派。共産党には  
大きく  
なって  
もらい  
たい」と  
期待を  
寄せて  
いまし  
た。

新しい視点 展望しめす  
しんぶん 赤旗  
日刊紙 ●月3,400円  
日曜版 ●月 800円

## 日本共産党・金子卓議員の一般質問は

# 9月24日（月）の3番目です

今議会は7人が一般質問をおこないます（21日4人、24日3人）。  
■日本共産党の堀江鶴治議員は21日（金）の2番目です



日本共産党のホームページを  
ご覧ください

日本共産党 検索

6月議会の一般質問

防災対策について

日本共産党の金子議員は6月議会の一一般質問で、防災対策について、東日本大震災対応の検証と今後の対策を取りあげました。今回の質問は、議員に配布された「平成24年3月30日現在の、東日本大震災業務別検証内容」を元に質問しました。今回は3項目に限っての質問です。

① 災害対策本部の会議録

金子議員 最初に、災害対策本部の本部会議録についてお聞きします。「業務別検証内容」では「災害対策本部の機能・組織・運営」について「主な課題」として、「対策本部の動きが見えなかった。会

議の内容等詳細が周知されなかった。確認したいことがあつてもどこに聞けばよいかわからなかった。他の部署の動き、全体の動きが見えなかった。」等があげられています。

市の職員ですら、このような状況でした。この課題に対して「業務別検証内容」では災害対策本部会議録にはふれていませんが、会議録についてどのような検証をおこなったのか、おこなわなかったのかお聞かせください。また、今後の対応策としては、災害対策本部会議録作成に会議録を作成すべきと考えます。いかがでしょうか。

市民部長

改めての検証等は現在まだおこなっていません。今後は、今回の本部会議録の作成経過を教訓として、災害

東海 「再稼働を認めない」陳情は、また継続審査

9月7日、総務常任委員会が開かれ、継続審査になっていた「東海第2原発の再稼働を認めない意見書提出を求める陳情」の審査をおこないました。金子議員は、原発廃炉の県内世論が大きく高まっている事などをのべ、採択するよう主張しました。しかし、多くの議員が東海村議会が結論をだ

23万6千筆余の「廃炉審査」を県知事に提出

東海第2原発の再稼働阻止・廃炉を求める署名は、これまでに23万6千筆余が県知事に提出されました(8月10日、第4次提出)。「県民センター」は、引き続き10月末までに30万筆をめざす署名運動を訴えています。

時に役立つような会議録の作成をめざして、あらかじめ記録者を指定し対応していきたいと考えています。

金子議員

作成した災害対策本部会議録は職員だけでなく、議員、区長、民生委員等必要な方々に配布して、情報の共有化と対応策の共有化をはかるべきと考えますがいかがでしょうか。

市民部長

情報および対応策の共有化を図るための会議録の議員や区長、民生委員へのファックスでの随時報告は今後の検討課題したいと思います。

② 防災行政無線

次は、防災行政無線についてです。「業務別検証内容」では「主な課題」として「防災行政無線が聞き取れない。戸別受信機未設置。防災無線が利用できなかつた。長期停電になるとバックアップ電源が消耗し機能できない。1日で使用停止」等ありますが、その通りです。

「業務別検証内容」では「防災無線システムの改善を」

あげています。どのようなシステムの改善を考えているのかお

「消費税増税」

聞かせください。

市民部長

今のシステム機能が最大限発揮できるようなメンテナンスの委託をおこなっている会社と改善策を含め協議・検討をしていきます。現時点では、基地局・中継局・屋外子局のバッテリーの交換時には可能な限り容量のあるバッテリーと交換していきたいと考えています。また、昨年度からの対応として、防災行政無線の屋外子局を久慈岡、若林の桜台、小野の3か所に設置し、戸別受信機200台購入して防災無線の拡大を図っています。

金子議員

問題は、各中継子局の非常用電源だと思えます。バッテリーの増強や発電機の設置など、簡単にあらためて、広報車に頼るのではなく、総務省の「無線設備の停電・耐震対策のための指針」も出されていますので、また、答弁にもありましたように、防災無線の製作会社と相談するなど検討を充分にするよう強く要請します。

② 給水

次は給水についてです。「業務別検証内容」では「主な課題」等として「断水時の各世帯への給水について、1世帯2

リットルでは何もできない。また、支所まで取りこくのも車が使えなければ無理」とあります。民間の井戸の登録等は

仕事・くじいの悩み お気軽にご相談を

日本共産党 連絡先 ケータイ 金子卓議員 090-1994-7696

具体的にとのように進んでいるのでしょうかお聞かせください。

市民部長

現在、地震等の災害が発生した場合には、近隣の被災者への飲料水として協力の提供をいただける井戸を登録するための準備をおこなっている段階です。

金子議員

ひたちなか市では、災害時の給水体制のなかで、井戸の整備について「勝田地区の14の小学校に防災用井戸を平成24、25年の2ヶ年で整備することし、予算を計上した。なお、那珂湊地区は、取水源が深井戸であることから、停電時には非常用発電機で汲み上げ配水対応する」と具体化しています。

当市でも、各小学校、あるいは各区の集会所施設ごとひ

ちななか市のように井戸を整備することも必要と考えますがいかがでしょうか。

市民部長

今後の井戸関係の推移を勘案しながら検討課題したいと思います。

金子議員

災害時の給水問題を考える上で、市内の自己水源の保全と確保は大事な課題です。市が策定した「水運

用基本計画」では、大場浄水場を休止する(これはすでに実施された)、将来は県水の受水量を8200立方メートルと大幅に増やし、久慈川から取水する第2浄水場を取り壊し撤去することが明記されています。

那珂川・涸沼に漁業権をもつすべての漁協が中止を求め立ち上がっている霞ヶ浦導水事業を前提に、県水の供給に頼りに市の自己水源(久慈川の表流水)と施設を縮小しようという市の「水運用基本計画」(は見直しすべきです。

■その他、一般質問では「道の駅」整備事業について質問しました。

また、「健康づくり」について、特定健診の受診率・保健指導率の目標達成の施策を質問しましたが、明確な向上策の答弁はありませんでした。

「生活困窮世帯への対応」と「常陸大宮駅前の時計塔」は時間がなくなり質問できませんでしたが、駅前時計塔は修理されました。



携帯用ホームページ http://www.jcp.or.jp/i/ 多彩な情報をお届けします。

